

地域における情報モラル向上支援事業補助金交付申請書

記入例

令和〇年〇月〇日

長野県将来世代応援県民会議会長様

学校行事（申請代表者が校長の場合
は、補助金の交付対象になりません。）ご担当者様と連絡のつく住所、電話番号、
メールアドレスを記入してください。

申請団体名

代表者名

連絡先住所

電話番号

メールアドレス

(担当者名)

長野県将来世代応援中学校PTA

会長 長野 太郎

〒 380-8570

長野市大字南長野字幅下692-2

長野県将来世代応援中学校

026-235-8996

youth@axel.ocn.ne.jp

長野 次郎

地域における情報モラル向上支援事業を下記のとおり実施したいので、補助金を交付して下さい。

記

1 申請額

20,000 円

2 事業実施内容

研修内容	講師の所属する団体名： インターネットメディア研究会 講師名： 長野 三郎 演題等： 子どもとインターネットメディア		
開催日時	開催日： 令和〇年〇月〇日 (〇) 時間帯： 午前〇時〇分～午後〇時〇分		
開催場所	施設名： 長野県将来世代応援中学校体育館 所在地： 長野市大字南長野字幅下692-2		
参加予定人数	幼児 0 人	小学校低学年 0 人	小学校高学年 0 人
	中学生 50 人	高校生 0 人	大人 50 人
			合計 100 人

学校行事（参加者が生徒・教職員のみ）の場合は、補助金の交付対象

になりません。地域住民（保護者等）も交えて開催してください。

支出 (①)	講師謝金及び旅費	34,000 円
収入 (②)	本補助金以外の収入 (例：参加料、申請団体が負担する金額など)	14,000 円
支出－収入 (③)	本補助金の必要額 (=①－②) ・過不足がないように計算（申請額=③） ・20,000円を上限とし、20,000円未満の場合は1,000円未満の端数を切り捨てる	20,000 円
	③が補助金額と同額になるよう計算してください。	補助金額 20,000 円

※開催日の15日前までに郵送、FAX、メールのいずれかで提出。

地域における情報モラル向上支援事業廃止承認申請書

記入例

「変更」「中止」「廃止」のうち、 ・該当するものを○で囲う ・該当しないものに取消し線 ・該当しないものを削除 のいずれかを行った上で提出してください。	申請団体名 代表者名 連絡先住所 電話番号 メールアドレス (担当者名)	令和〇年〇月〇日 長野県将来世代応援中学校PTA 会長 長野 太郎 〒 380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2 長野県将来世代応援中学校 026-235-8996 youth@axel.ocn.ne.jp 長野 次郎
☆変更 ・金額を変更する場合 ・開催日を大幅に変更する場合		
☆中止 ・今年度実施する場合(=延期)		
☆廃止 ・今年度実施しない場合		

令和〇年〇月〇日付け〇長野県第〇ー〇号で補助金の交付決定があつた地域における情報モラル向上支援事業を、下記のとおり廃止したいので承認してください。

記

1 廃止の理由

新型コロナウイルス感染拡大防止のため

開催日時を変更する場合は、
「1 変更の理由」へ、変更前と変更後の
開催日時を記入してください。
文字が入りきらない時は「別紙のとおり」と
書いた上で、変更理由と変更前後の日時
を記した書類を1枚添付してください。

2 補助金申請額

当初交付決定額 20,000円変更後補助金所要額 0円変更による増減 ▲20,000円

3 補助金額の算定

支 出 (①)	講師謝金及び旅費	0円
収 入 (②)	本補助金以外の収入 (例: 参加料、申請団体が負担する金額など)	0円
支出-収入 (③)	本補助金の必要額 (=①-②) ・過不足がないように計算(申請額=③) ・20,000円を上限とし、20,000円未満の場合は1,000円未満の端数を切り捨てる	0円
補助金額		0円

地域における情報モラル向上支援事業実績報告書兼請求書

記入例

令和〇年〇月〇日

長野県将来世代応援県民会議会長様

【申請代表者】と補助金振込先の【口座名義人】
が異なる場合、委任状が必要になります。

この記入例の場合、
【申請代表者】は「長野 太郎」(PTA会長)
【口座名義人】は「長野 次郎」(教頭)
となっているため、委任状が必要です。

申請団体名
長野県将来世代応援中学校PTA
代表者名
会長 長野 太郎
連絡先住所
〒 380-8570
長野市大字南長野字幅下692-2
電話番号
026-235-8996
メールアドレス
youth@axel.ocn.ne.jp
(担当者名)
長野 次郎

令和〇年〇月〇日付け〇長野県第〇-〇号で補助金の交付決定があった地域
における情報モラル向上支援事業を下記のとおり実施したので報告します。

については、補助金を交付してください。

記

1 事業実施内容

研修内容	講師の所属する団体名：インターネットメディア研究会			
	講師名：長野 三郎			
	演題等：子どもとインターネットメディア			
開催日時	開催日：令和〇年〇月〇日(〇)			
	時間帯：午前〇時〇分～午後〇時〇分			
開催場所	施設名：長野県将来世代応援中学校			
	所在地：長野市大字南長野字幅下692-2			
参加人数	幼児	0人	小学校低学年	0人
	中学生	40人	高校生	0人
			大人	80人
			合計	120人

2 補助金額の算定

支出 (①)	講師謝金及び旅費 (領収書に記載の金額と同額)	34,000円
収入 (②)	本補助金以外の収入 (例：参加料、申請団体が負担する金額など)	14,000円
支出－収入 (③)	本補助金の必要額 (=①－②) ・過不足がないように計算(申請額=③) ・20,000円を上限とし、20,000円未満の場合は1,000円未満の端数を切り捨てる	20,000円
補助金額		20,000円

※補助対象経費の支出額
③が補助金額と同額になるように
計算してください。

の写しを添付してください。

3 補助金支払先

金融機関名	一八銀行	支店名	県庁内支店	預金種別	普通
口座番号	01234567	(フリガナ)	カガノケンショウラセタイオウエンチュウカツコウキヨウトウカガノジロウ	口座名義人	長野県将来世代応援中学校 教頭 長野 次郎

※申請代表者と口座名義人が異なる場合は、別途委任状が必要です。

記入例

委任状

【申請代表者】と補助金振込先の【口座名義人】
が異なる場合、委任状が必要になります。

令和〇年〇月〇日

委任者

長野市大字南長野字幅下692-2

長野県将来世代応援中学校PTA

会長

長野 太郎

長
野

実績報告の際に、委任者が押印した原本を
提出してください。
(他の書類はメール等で問題ありません)

下記の者を代理人と定め「地域における情報モラル向上支援事業補助金」の受領に關す

この記入例の場合、

【委任者】が【申請代表者】の「長野 太郎」(PTA会長)

【受任者】が【口座名義人】の「長野 次郎」(教頭)
となっています。

受任者

長野市大字南長野字幅下692-2

長野県将来世代応援中学校

教頭

長野 次郎